

令和4年度 学校だより



令和5年 1月 11日 (水)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 1月号
onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka

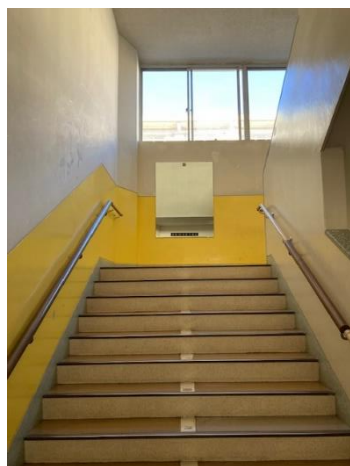
花いっぱい 自分 友だち 御一小

階段の鏡

冬休みが明け、元気いっぱいの子どもたちの声で三学期を迎えました。本年も第一小学校をよろしく願います。

第一小学校の階段には最初の踊り場に必ず鏡が設置してあります。今まで勤務したどの学校にも階段付近に鏡がありました。衝突防止のためという意見もありますが、それよりも鏡に映る自分の姿をみて、身なりや心を整えて教室に向かうという役割の方が大きいと思います。自分も鏡の前を通る時、自分の姿を確認し、「よしやるぞ！」という風に自分を奮い立たせて教室に向かっていました。

義務教育期の子どもたちは、他者意識の獲得の時期でもあります。8歳～10歳くらいで、自分と他人の違いは、外見や属性だけではなく、性格や感情、態度などの内面にも違いがあることに気づきます。同時に他者から自分がどう見られているか気になり出します。10歳～12歳では、様々な視点から自分のことを把握できるようになってきます。いままで経験してきたことも人によって違うと気づきます。また、他者の有能さを知り自分のことを否定的に評価してしまうことが多いので注意が必要です。やりたいけれどできないという壁をどう乗り越えていくかに悩む時期でもあります。自分の特徴・良さ(本校では花)を認識し、自分の居場所を見つけることが大切です。みんなそれぞれ違っていいし、それぞれが良いところを持っているという事に気づき、仲良く生活できるように支援する必要があります。



本校の子どもたちが取り組んでいる「未来プロジェクト」。6年生は「自分も友達も大切にできる学校」をスローガンに、子どもたちで集会や委員会活動を通して学校づくりを進めてきました。今学期には、5年生にバトンタッチされます。5年生も、12月にどんな学校にしたいか話し合いを始めました。2023年、どのような第一小学校を創っていくか、子どもたちの自治力に期待しています。

